

播磨南高校生と『播磨町』を考える

「地域デザイン類型」の生徒を含む2年生と播磨町議会議員で、播磨町についての意見交換会を行いました。

■令和5年12月1日

13時20分から14時10分まで、テーマは「不登校生の居場所づくり」「赤ちゃんなどの子育て支援・播磨町の子育て支援の現状」「子育て支援」「播磨町のジェンダー対策について」「播磨町の安全を守るうゝ高潮編」播磨町の花火大会についてです。

■令和6年1月12日

2部に分けて実施し、第一部は13時20分から14時10分まで、テーマは「学校の教室に来る異臭」「播磨町の公共施設について」「トイレ問題が重要視されるこの世の中で…（ジェンダーの視点から）」「播磨町の魅力」「播磨町の少子高齢化」「播磨町に係るふるさと納税について」です。

第二部は14時20分から15時10分まで、テーマは「播磨町の防犯対策について・播磨町をより良い町に」「播磨町の災害について・播磨町を活性化させるために」「ストーリートピアノ」「総合病院の建設について」「人口減少について・播磨町の人口問題」「大中遺跡まつ



りの活性化について・播磨町があまり認知されていない点についてです。計18項目にわたるテーマについて、6班に分かれた播磨町議会議員と、3時限分を使っての交流会となりました。

播磨南高等学校では、令和5年度の2年生から実際に「地域デザイン類型」の授業が始まり、播磨町役場の協働推進課や兵庫大学の現代ビジネス学部など、関係機関の協力を得ながら授業を進めています。

今後は播磨町とともにさまざまな活動を行い、町づくりプランを発信し、地域の活性化・発展に寄与することが出来る人材を育成していきます。

近年、播磨町内在住の生徒が減少していることから、まずは播磨町を知る必要があるため、役場に概要説明などを依頼し、「議会だより」を読み、播磨町の現状と課題を学んだ上でテーマ設定を行いました。

そのテーマをインターネットや文献で調べたり、フィールドワークに出たり、インタビューをしながら調査したものを報告書としてまとめ、議員と意見交換をしました。

当議会としては、高校より依頼があれば今後も議員との交流会・意見交換会を続けていきたいと考えています。